

仙台の今、未来への責任！

■発行／仙台市議会議員 野田ゆずる

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和3年第4回定例会報告



■ご意見・ご要望がありましたら
お気軽にお寄せください。

今回の仙台市議会レポートは、令和3年第4回定例会の報告を致します。今定例会では、18歳以下の子どもへの10万円一括給付のための補正予算を含め25議案を可決いたしました。

主な補正予算は、新型コロナウイルスワクチン3回目接種費に、38億2,536万円、原油高騰の緊急対策として、低所得世帯に5,000円の生活助成金を給付する8億5,668万円、幼稚園が2歳児の預かり保育を実施する施設改修費800万円も計上しました。

今回のレポートは「会派 自由民主党」の代表質疑と答弁の要点の一部を掲載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和3年第4回定例会
では…

- 18歳以下の子どもへ10万円の一括給付
- 原油高騰の対策として、低所得世帯への5,000円給付
- 幼稚園の2歳児の預かり保育への施設改修費計上

令和3年第4回定例会 自由民主党代表質疑より (抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策について

質問 8月から9月にかけての、いわゆる第5波では、感染力が強い変異株であるデルタ株への置き換わりが進み、全国各地で急速かつ広範囲に感染が拡大した。

現在、オミクロン株について多くの国での感染例が報告され、世界的に警戒が強まっている。今後、感染症拡大は起こり得るものとして、第5波における検証や分析を行っておく事は大変重要だ。改めて第5波における本市の対応を振り返り、どう評価し、またどんな課題があったと認識しているのか。

さらに、感染拡大を防止しながら、日常生活や社会経済活動の継続が可能となるような備えと対応も考えていかなければならない。本市において第6波を想定して、保健医療提供体制の面から、市民生活・経済活動といった面からも具体的にどんな準備を進めていくのか。

答弁 患者の急増を機に宿泊療養施設の確保、またその入所に時間を要するなどの課題も生じた。第5波における新規陽性患者数最大値の1.2倍の感染者が発生することを想定し、保健・医療提供体制確保計画を策定した。

質問 新たな変異株が次の第6波を引き起

こす可能性は否定できない。その意味でも新たな変異株に対する検査体制をしっかりと確保し、早期の把握と市民への情報提供が重要だ。オミクロン株に関する検査体制はどうなっているのか。

答弁 8月に新たに次世代遺伝子解析装置を導入しており、迅速なゲノム解析が可能となっている。オミクロン株陽性者は、症状にかかわらず原則入院とするなど、確認された際には、対応等も着実に行うとともに、市民の皆様への情報提供も適切に行い、感染拡大防止に努めていく。

質問 感染の再拡大を見据えた対策は急務で、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種は大変重要だ。今後の接種対象者や接種時期、可能な会場等、3回目接種の前倒しを含め、その概要を伺う。

答弁 2回目接種の実績に基づき、医療従事者に続き、高齢者施設の入所者や従事者、そして、高齢者の方々へ順次対象が拡大していく。その際、集団接種、個別接種に加え、大規模接種センターを組み合わせ十分な接種体制を構築していく。



質問 1・2回目の接種経験を生かし、3回目の接種をより市民にとって利便性が高く円滑に進めることを求める。1・2回目の接種の際の課題に対し、3回目の接種でどう対応していくのか伺う。

答弁 今回接種券の送付に際して、接種を希望するすべての方が、必要な情報を確実に入手いただけるような案内を同封していく。また、3回目接種対象者が拡大する来年1月初めより、コールセンターをフリーダイヤル化することを検討している。

質問 3回目接種を円滑に進めていくためには、十分な量のワクチンの確保が必須だ。ワクチン供給の見通しは如何か。

答弁 必要量は確保される見込みだ。2月以降は全国的にファイザー社製の供給量が少なく、モデルナ社製が数多く供給される。3回目接種からは集団接種・個別接種においても、モデルナ社ワクチンを使用していくことが必要と考えている。

質問 3回目と並行して今後対応しなければならないのは、5歳から11歳の小児に対するワクチン接種だ。現時点での本市の認識や今後の対応について伺う。

答弁 早ければ来年2月から開始することが見込まれている。小児への接種に際しては、ファイザー社製の小児専用ワクチンを使用することに加え、接種量が大人と異なることなどを踏まえ、個別接種による丁寧な対応が必要と考えている。



4 病院の再編について

質問 11月15日に本市は「県が公表した県立病院の今後の方向性について関する本市の考え」を提出した。市の考えに対し県からはどんな反応があったのか。

また、この間、「本市の考え」提出以外に、この問題についてどんな対応を行ってきたのか伺う。

答弁 本市からは県に対し、担当部署間での協議や情報交換を求めており、県からは今後文書で回答する旨の話をいただいている。

県の方向性及び本市の医療提供体制の現状や課題について、有識者からの意見を聴取するため、市民、学識経験者、医療関係者等で構成する懇話会を開催したところだ。



質問 懇話会においてどんな意見が出されたのか、それらの意見をどう活かしていくつもりなのか。

県においては、来年度末までの基本合意に向け協議を開始する旨を明らかにし、何ら情報提供がないまま再編に向けて動き出そうとしている。今後、本市としてどう対応していくのか。

答弁 県からの丁寧な情報発信や地域等への説明がなされ、県民・市民等の理解を得て進めるべき、という点については皆様が同様の考えであることを確認した。

今回の件は、市民生活に大きな影響を及ぼすものであり議論の形なども含めて、積極的な情報開示、丁寧な説明が必要だ。県に対して、これらを引き続き求めていくとともに、懇話会での意見を参考に、どんな対応が必要なのか検討していきたい。

米価下落の影響と対策について

質問 令和3年度産の概算金は、ひとめぼれ1俵60キロにつき、前年比3,100円マイナスの9,500円となった。大幅な下落だ。米農家からは来年以降の稲作に不安を訴える声が寄せられている。

今回、「水稻経営継続支援事業」1億6,000万円余りが計上されているが、これは水田10㌦につき4,000円の支援である。この事業の趣旨、そして事業の対象となる農家がどれくらいいるのか。

答弁 来期の作付に向けた資材購入等に要する費用負担を軽減し、米生産農家の皆様の経営継続を支援することが、この事業の趣旨だ。対象者は、市内で主食用米を生産・販売している個人・法人合わせて約1,800事業者を見込んでいる。

質問 今回の米価下落は生産者側に何の落ち度もない。にもかかわらず所得の減少という酷な結果を生んでいる。米農家の皆様の生産意欲が衰退し、離農者や耕作放棄地が増加することを何よりも危惧している。どう認識しているのか。

また、次期作に向けた米農家の生産意欲の回復をどうみているのか。

【答弁】 提案している支援事業を始め、国が提示している米の長期保管に関わる支援策や、県が示した販路拡大支援事業、作付転換支援事業なども組み合わせ、生産者の皆様が、来期の作付に向けて前向きに取り組んでいただけるよう努めていく。



【質問】 支援と合わせて、米の消費拡大や過年度米の過剰在庫の解消を図ることも重要だ。過剰在庫となっている米について、こども食堂やフードバンクへの提供を行うことによって、困窮者への支援と、米の過剰在庫の解消になり、需給バランスの改善という2つの効果が期待できる。

本市としても、こども食堂への米の提供等の対策に取り組み、事業者を後押しすべきと考えるが、如何か。

【答弁】 中長期的視点から、米の消費拡大や過剰在庫の解消を図ることが重要だ。

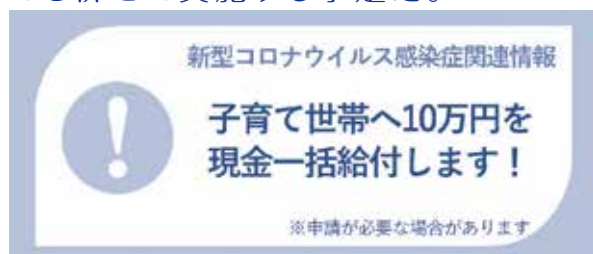
国による長期保存に関わる支援や、こども食堂への提供、県が計画する販路拡大支援事業等の、今後の進捗を注視しながら、関係機関と情報を共有し、必要な対応を検討していく。

子育て世帯や生活困窮世帯への支援について

【質問】 0歳から高校3年生までの子供たちを養育する世帯に対し、子供1人当たり10万円相当の給付を行う事が掲げられた。支援は、いち早く対象の市民の手に届き、消費行動と相まって効果が実感される。スピード感を持った対応が何よりも重要だ。本市においてはどのように取り組んでいくのか。

また、市長はエネルギー価格高騰への対応にも言及し、燃料費助成を行うとの事だが、取り組みと支援の内容を伺う。

【答弁】 まずは子育て世帯等に対する給付金を速やかに支給開始できるよう取り組んでいくとともに、燃料価格が高騰している状況を踏まえ「冬季生活助成金」の支給についても併せて実施する予定だ。



【質問】 10万円を現金で一括給付する方が現実的だと考えるが、市長の所見を伺う。

【答弁】 来春に向けた給付については、現金給付に関する国の考え方が整理されるのを受け検討していきたい。

交流人口ビジネス活性化戦略について

【質問】 国の Go Toトラベル事業などは、短期的には有効と考えるが、大事なのはその後だ。今後の交流人口の回復と経済の活性化のため、どんな視点・方向性を持って取り組んでいくつもりか。

【答弁】 仙台・東北の地域に根ざした文化や食、ものづくりなどを体験する、いわゆるローカルツーリズムや、健康やSDGsをテーマにした旅行の推進により、滞在時間の延伸や旅行者の満足度向上を図る方策等について検討している。こうした取り組みの推進のためには、地域や異業種の方々も含め、関係者が共に考え実践する仕組み作りも重要と考えている。

アフターコロナを見据えた取り組みについて

【質問】 アフターコロナには、都市間競争が激化することが予想される。本市が内外から選ばれる都市であるためには、最先端の技術を活用し、市民サービスの向上や地域活性化につながる姿勢が重要だと確信しているが、当局の認識を伺う。

【答弁】 本市が国内外の企業や多くの人々、とりわけ若い世代から選ばれる都市となり、地域経済を牽引する役割を担うことが重要と認識している。今後とも最先端の技術を積極的に活用していく、挑戦の姿勢のもと、産学官連携により、先端技術を積極的に取り入れるまちづくりを国内外へと発信していきたい。

【質問】 本市のこれまでの特区の取り組みをさらに加速させるのが「スーパーシティ構想」だ。応募した自治体は31、その中から選ばれるのは5自治体程度だ。選定は決して容易ではないが、選定に向けた市長の意気込みは。



【答弁】 スーパーシティの実現に向けて、大学や企業との連携による先端技術を生かした、まちづくりの実績を積み重ねていくことが重要だ。今後、次世代放射光施設、リサーチコンプレックスの形成など取り組みを加速させ、本市の都市力向上、競争力アップにつなげていきたい。

G7 関係閣僚会合誘致について

質問 市長は外務省を訪ね、林外務大臣と面会し、G7サミットの仙台開催に向けて誘致活動を行った。活動での印象と、今後の活動に向けた意気込みと、誘致の目的や効果を伺う。

答弁 仙台・東北の魅力はもとより、震災から復興した姿や支援に対する感謝の気持ちを国内外に発信できる、またとない機会になる。科学技術や環境などの閣僚会合を想定しており、大臣からは官民を上げた誘致体制に対して評価をいただいたところで、官民一体となった要望活動を本格化させ、誘致が実現するよう努力していく。

音楽ホールについて

質問 ホール整備には基本構想の策定から建設まで8年もの期間を要することを考えれば、今の内から着実に前へ進めてお



く事が必要だ。

改めて青葉山交流広場と、県民会館跡地に対する現時点での、音楽ホールの立地に対する市長の考えを伺う。

答弁 本市が目指すホールは、我が国トップクラスの総合的芸術拠点だ。この点、青葉山交流広場は多様な文化・歴史・学術の資源を有し、豊かな自然環境に囲まれた森の都を象徴するエリアにある。音楽ホールの立地としても非常に魅力的かつ有力な候補の一つと考えている。

施設の複合化について

質問 地域課題が複雑多様化していく中で、リニューアルはしたが、さっぱり使われないではせっかくの建て替えが台無しだ。施設を最大限活用して地域づくりの拠点となるよう、どんな取り組みを行っていくのか伺う。特に共用部分にあたる市民交流スペースの運営や活動内容は、どのようになるのか。

答弁 施設の複合化・リニューアルによって地域活動の拠点としての機能がいっそう高まるよう、引き続き関係部局が連携してサポートしていきたい。

質問 本市公共施設は、今後一気に更新時期を迎えることになる。私はこの将監地域のような複合化による施設の更新の取り組みは、極めて効果的な手法であり、地域の意向を踏まえながら、計画的に拡大していくことが重要と考える。

今後どんな考えで施設を更新していくのか、また他の地域において複合化の予定はあるのか伺う。

答弁 将監地区の他にも、生出地区施設の複合化に向けて、地域の皆様と意見交換をしており、関係部局が連携し施設や地域の状況を踏まえ、適切な整備手法を検討していく。

その他の質疑項目

- 本市のデジタル化の取り組みについて
 - 公共交通運行継続奨励金について
 - 預かり保育推進事業について
 - ガス事業民営化について等
- 多岐にわたり質疑を行いました。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

料金受取人払郵便

9 8 1 - 3 1 9 0

泉 局
承 認

36

差し出し有効期間
2022年
4月30日まで

切手不要

(受取人)

泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる 行

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
〒住所	□□□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
なま地 なま地 なま地		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。